

所 報

第40号 2000年3月発行

発行人 津嘉山 朝 祥

発行所 沖縄県立教育センター

〒904-2174 沖縄県沖縄市字与儀587番地

電 話 098-933-7555

FAX 098-933-3233

チョ～ たのしかったよ！！

体験活動交流会

平成12年1月26日（水）に教育センターで、県内の適応指導教室に通う児童生徒56名が参加して、体験活動交流会を実施しました。教育センターを総合的に活用した交流会は、今回が初めての試みで、有意義な交流会を持つことができました。ここに、体験活動の内容や様子を紹介します。

産業教育課と情報処理教育課においては、最新の機器を活用した体験教室が開かれました。児童生徒にじっくりと時間をかけて、最新の機器を体験してもらうため、あらかじめ準備された選択メニューから、児童生徒が1つを選んで取り組めるようにしました。

- 1 刺繍CADでワッペンをつくろう
- 2 フラスコで植物を育てよう
(バイオテクノロジー体験)
- 3 写真を合成してポスターをつくろう
- 4 インターネット体験
- 5 ロボット体験
(溶接ロボット、組立ロボット体験)

児童生徒の感想

バイオはバイオって感じがした。ビンの中でよく植物がそだつなあ すごい！！



「おもしろ科学教室」は、理科研修課の所員・研修員によって、多目的ホールに観察・実験、製作などの活動が準備され、それぞれが体験できるようにしました。児童生徒は、科学的な遊びに夢中になって取り組んでいました。

- 1 てんまでとどけ！水ロケット
- 2 ポプリをあなたに
- 3 液体窒素で遊ぼう
- 4 ドライアイスで遊ぼう
- 5 フィルムケースで笛をつくろう
- 6 空気をぬこう
- 7 シロアリ君と遊ぼう
- 8 簡易分光器をつくろう
- 9 水素で大爆発
- 10 紙飛行機を飛ばそう
- 11 繊維の種類を調べよう
- 12 スライムをつくろう

児童生徒の感想

できないことをさせてもらってとってもいい体験でした。もっと時間があつたらうれしいなあ



今回の体験活動交流会は、児童生徒に満足感や成就感、連帯感等を味わわせる良い機会になったと思います。今後は、さらに児童生徒の自主性を発揮させるための内容の工夫や活動に参加できなかった児童生徒の関心・意欲を引き出すための工夫をしていきたいと思っています。

目 次

体験活動交流会	1
「総合的な学習の時間」への支援	2
平成11年度統計資料	3～8
研修事業、教育相談、心の電話、障害児教育相談、生徒実習	
平成11年度後期・1年長期研修員「研修テーマ」一覧	8～10

「総合的な学習の時間」への支援

教科研修課 狩俣 智（算数・数学研究室研究主事）

学校現場の「総合的な学習の時間」の取り組みを支援するために、当教育センターは以下の取り組みを進めてきています。

- ① 「総合的な学習の時間についての学校長調査」の実施（平成11年3月）
- ② 「総合的な学習の時間の手引き」の作成（平成11年10月）
- ③ 長期研修講座の実施（平成10年4月～）
- ④ 短期研修講座の実施（平成11年～）
- ⑤ 長期研修員の受け入れ（平成11年～）
- ⑥ 「総合的な学習の時間の活動プラン集」の作成（平成12年3月）
- ⑦ 総合的な学習研究室の開設（平成12年4月開設）
- ⑧ 校内研などへの講師派遣（平成11年度は40校へ派遣した）

ここでは、当教育センターが平成11年10月に作成した「総合的な学習の時間の手引き」と平成12年3月に完成する「総合的な学習の時間の活動プラン集」を紹介します。

□ 「総合的な学習の時間の手引き」

この「総合的な学習の時間の手引き」（全41P）では、「総合的な学習とは何か」「総合的な学習の要件はどのようなものか」「総合的な学習をどのように計画するか」などを取り上げました。特に、総合的な学習については「体験的学習を取り上げさえすればよい」とする誤解も根強いことから「総合的な学習の時間の手引き」の作成にあたっては、

- ①「教科学習」の成果を生かした「知の総合化」の場であること。
 - ②「課題を設定する」「現状を調べる」「解決の方法を探る」「考えをまとめる」「報告書を書く」「発表する」などの活動があること。
 - ③生徒の主体的学び（self-learning）の時間であること。
- などの要件を強調しました。

手引きの後半においては、平成12年度からの試行にむけて、「年間時数が35で割り切れない時数をどのように年間総時数に位置づけるか」「移行期の総合的な学習の時間の時数確保をどうするか」などについて例を示して基本的な考え方をまとめました。

□ 「総合的な学習の時間の活動プラン集」

この「総合的な学習の時間のプラン集」（全83P）では、「総合的な学習の時間の手引き」で取り上げることができなかった「国際理解」「情報」「環境」「在り方生き方」など学習指導要領に例示された各テーマを取り上げ、各テーマごとに活動プランを示しました。

また、へき地の極小規模校での総合的な学習、特殊教育諸学校での総合的な学習の他、高等学校の職業科において「課題研究」と関連づけて実施する総合的な学習にも焦点を当てました。

平成11年度統計資料

＜研修事業＞

研修事業は、長期研修と短期研修に区分して計画実施し、昭和62年度からは宮古、八重山地区の離島で短期研修として移動教育センターを開設しています。

また、平成4年より両地区において離島長期研修制度も発足し、平成11年度の研修員は生活1名、社会1名、特別活動1名、算数・数学1名の計4名でした。

（１）年度別長期研修者

担 当 課	S61 以前	62	63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	合 計
教 科 ・ 経 営	746	87	96												929
教 科 研 修				54	73	76	80	73	75	37	42	46	46	42	644
教育経営研修				40	65	72	71	76	67	43	42	48	40	38	602
理 科 研 修	386	25	29	32	45	30	30	27	27	19	18	18	20	17	723
情報処理教育	12	9	12	13	16	21	22	22	22	15	16	18	19	17	234
特 殊 教 育				7	10	13	15	13	13	9	10	10	10	10	120
農業教育分室					2	1	2	2	2	2	2	2			15
産 業 教 育													12	14	26
計	1144	121	137	146	211	213	220	213	206	125	130	142	147	138	3293

（２）年度別短期研修講座数・受講者数

担 当 課	S61 以前	62	63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	合 計
教 科 ・ 経 営	639	94	74												807
教 科 研 修				32	22	20	19	20	20	20	21	21	14	18	227
教育経営研修				27	21	20	20	19	21	22	18	18	7	6	199
理 科 研 修	314	17	18	18	11	13	13	15	16	14	14	15	9	7	494
情報処理教育	45	28	7	6	6	6	4	4	6	6	6	6	6	6	142
特 殊 教 育				21	21	22	24	26	22	21	19	21	8	5	210
移動教育センター		4	4	2	49	54	58	34	34	31	28	19	10	8	335
農業教育分室					4	2	4	4	2	2	2	2			22
産 業 教 育													6	15	21
計	998	143	103	106	134	137	142	122	121	116	108	102	60	65	2457
教 科 ・ 経 営	12088	1312	1206												14606
教 科 研 修				537	241	314	260	368	273	248	317	292	448	573	3871
教育経営研修				573	403	360	352	285	334	331	331	306	266	163	3704
理 科 研 修	13189	730	406	259	229	188	198	219	243	236	289	225	212	147	16770
情報処理教育	889	1095	179	115	112	93	81	78	95	78	82	93	178	196	3364
特 殊 教 育				218	149	298	299	447	396	314	282	318	150	113	2984
移動教育センター		80	80	58	447	565	528	338	197	171	166	216	240	182	3268
農業教育分室					61	37	23	43	34	17	26	18			259
産 業 教 育													68	152	220
計	26166	3217	1871	1760	1642	1855	1741	1778	1572	1395	1493	1468	1562	1526	49046

＜教育相談＞

教育相談研究室では、教育センターの事業の一つとして、児童生徒、父母、教師などから教育相談を受けている。平成11年度の相談件数、内容等は次の通りである。

(1) 教育相談受理件数 () は延べ件数

	電話相談	来所相談	訪問指導	計
園 児	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
小学生	27 (45)	14 (41)	1 (1)	42 (87)
中学生	18 (18)	12 (23)	0 (0)	30 (41)
高校生	27 (35)	13 (15)	0 (0)	40 (50)
計	74 (100)	39 (79)	1 (1)	114 (180)

「平成11年 4 月 1 日～平成12年 2 月29日」

(2) 相談内容 () は比率

相談内容	不登校	非 行	性格行動	学校生活	その他	計
園 児	2 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
小 学 生	21 (50.0)	1 (2.4)	14 (33.3)	2 (4.8)	4 (9.5)	42 (100)
中 学 生	17 (56.7)	1 (3.3)	7 (23.3)	2 (6.7)	3 (10.0)	30 (100)
高 校 生	21 (52.5)	4 (10.0)	4 (10.0)	9 (22.5)	2 (5.0)	40 (100)
計	61 (53.5)	6 (5.3)	25 (21.9)	13 (11.4)	9 (7.9)	114 (100)

(3) 相談者内訳 () は比率

	父 親	母 親	教 師	本 人	その他	計
園 児	0 (0)	2 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (100)
小 学 生	2 (3.6)	24 (42.8)	20 (35.7)	8 (14.3)	2 (3.6)	56 (100)
中 学 生	2 (3.2)	38 (61.3)	2 (3.2)	19 (30.6)	1 (1.7)	62 (100)
高 校 生	5 (8.6)	29 (50.0)	11 (19.0)	12 (20.7)	1 (1.7)	58 (100)
計	9 (5.1)	93 (52, 2)	33 (18.5)	39 (21.9)	4 (2.3)	178 (100)

(4) 相談対象者男女別 () は比率

	男子	女子	計
園 児	2 (100)	0 (0)	2 (100)
小学生	26 (61.9)	16 (38.1)	42 (100)
中学生	18 (60.0)	12 (40.0)	30 (100)
高校生	16 (40.0)	24 (60.0)	40 (100)
計	62 (54.4)	52 (45.6)	114 (100)

(5) 不登校の男女別内訳 () は比率

	男子	女子	計
園 児	2 (100)	0 (0)	2 (100)
小学生	11 (52.4)	10 (47.6)	21 (100)
中学生	10 (58.9)	7 (41.4)	17 (100)
高校生	9 (42.9)	12 (57.1)	21 (100)
計	32 (52.5)	29 (47.5)	61 (100)

(6) 不登校についての相談 (要因別件数)

要 因	幼 児	小学生	中学生	高校生	計
家族・親子関係	2	11	2	1	16
友人関係 (含む：孤立，いじめ)	0	2	7	9	18
きびしいしつけ	0	0	0	0	0
過保護・溺愛	0	2	0	3	5
教師との関係	0	3	0	0	3
身体コンプレックス (肥満等)	0	0	0	1	1
学業不振，学習不適応	0	2	0	2	4
その他	0	1	8	5	14
計	2	21	17	21	61

(7) 国頭地区，宮古地区，八重山地区出張教育相談

地 区	対象児童生徒				相 談 内 容						相談者内訳				
	小学生		中学生		不登校		心身障害		その他		父親	母親	教師	本人	その他
	男子	女子	男子	女子	小学	中学	小学	中学	小学	中学					
国 頭 地 区	3	3	3	1	4	3	1	1	1	0	1	3	9	1	0
宮 古 地 区	0	2	7	5	3	3	1	0	1	7	0	7	11	3	0
八 重 山 地 区	3	3	0	6	5	2	0	0	4	2	1	7	7	4	0

<こころの電話>

「こころの電話」では，体，こころ，学習，進路，生活などあらゆる面での悩み，不安の相談に応じています。平成11年度「こころの電話」に寄せられた内容，件数等は，次の通りです。

(1) 月別相談日数と相談件数（平成11年4月1日～平成12年2月29日）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1日平均
相 談 日 数	21	18	21	21	22	19	20	20	19	19	20	／	220	
相 談 件 数	52	60	61	72	56	50	64	62	52	52	55	／	636	2.89

(2) 相談内容別件数

相談内容		件数	相談内容		件数
身体・精神		57	男女交際		25
知能・学業		16	結婚問題		0
性 格 ・ 行 動	不登校	43	育児・しつけ		19
	夜遊び	4	夫婦問題		35
	家出・外泊	5	性の問題		10
	酒・喫煙・シンナー	8	人生問題		14
	盗み・万引き	3	教育一般		3
	暴力・いじめ	32	社会一般		20
	その他(うそ・怠学等)	13	家族問題		57
学校生活		60	その他		164
進路・適性		24			
友人関係		24	合 計		636

(4) 相談者内訳

相談者	人数	%
父 親	26	4.0
母 親	331	52.0
親 戚	23	3.6
教 師	12	2.0
幼稚園	0	0
小学生	15	2.0
中学生	24	4.0
高校生	25	4.0
大学生	6	1.0
勤少年	3	0.4
一 般	171	27.0
計	636	100

(3) 相談対象者内訳

相談対象者	修学前	小学生	中学生	高校生	大学生	勤少年	その他
人 数	25	105	140	104	23	3	236
%	4.0	16.5	22.0	16.0	4.0	0.5	37



<障害児教育相談>

特殊教育課（特殊教育センター）では、障害のある（疑いを含む）乳幼児、児童生徒の保護者や関係者に養育・教育及び就学等に関するさまざまな問題や悩みについての相談や嘱託医による医療相談を実施しています。

本年度実施した①来所相談、②電話相談、③特殊教育諸学校に相談員として委嘱した就学相談員による相談、及び巡回就学・教育相談の実績は、次の通りです。

1 来所・電話相談及び就学相談員による相談

(1)相談区分別相談総数 (平成11年4月1日～平成11年1月31日)

区 分	相談件数	相談回数	備 考
①来 所 相 談	74	179	・ 電話相談の件数は、電話相談のみの件数 ・ 就学相談員は、盲学校・聾学校知的障害及び肢体不自由養護学校10校に10名配置
②電 話 相 談	85	116	
③就学相談員による相談	64	98	
合 計	223	393	

(2)相談区分別にみた相談主訴と相談回数

相談主訴内訳 相談区分	養育	障害・発達の状態	就園・就学・転校	学校教育	早期教育	進路	視・聴・心理検査	言語・機能訓練	その他	相談回数合計	備 考
①来 所 相 談	25	57	10	8	0	1	41	29	8	179	・ 各内訳は情報提供嘱託医との連携も含む。
②電 話 相 談	11	29	9	18	1	3	4	8	33	116	
合 計	36	86	19	26	1	4	45	37	41	295	

③就学相談員による相談

相談主訴内訳 区 分	相談全般	各種訓練	学校見学	体験入学	相 談 合 計 回 数	備 考
来 校 相 談	11	22	34	11	78	・ 訪問相談は相談員が依頼文書を受けてその場所に出向いて行う相談
電 話 相 談	17	0	0	2	19	
訪 問 相 談	1	0	0	0	1	
合 計	29	22	34	13	98	

(3)相談区分別にみた相談対象年齢

年 齢 相談区分	0～ 3 歳	3～ 6 歳	6～ 12歳	12～ 15歳	15～ 18歳	18歳 ～	不 明 その他	合 計	備 考
①来 所 相 談	3	1 6	4 1	6	1	0	4	7 4	
②電 話 相 談	4	1 3	2 6	9	4	4	2 5	8 5	
③就学相談員による相談	4	3 9	8	1	2	1	9	6 4	
計	1 1	7 1	7 5	1 6	7	5	3 8	2 2 3	

2 障害児巡回就学・教育相談

年 齢 障害別	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	言語障害	情緒障害	重 複 障 害				その他	総 計
								視 覚 知的障害	聴 覚 知的障害	肢 体 知的障害	その他		
2 歳	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	5
3 歳	0	0	9	5	2	0	3	0	0	1	0	1	21
4 歳	0	2	26	7	1	7	8	0	1	1	1	0	54
5 歳	1	6	37	9	3	6	14	0	0	1	0	1	78
6 歳	0	3	19	4	2	2	6	0	0	0	1	0	37
7 歳以上	0	1	9	0	0	2	5	0	0	0	1	2	20
計	1	12	102	26	8	19	36	0	1	3	3	4	215

※平成12度も特殊教育課（特殊教育センター）において来所相談，電話相談，就学相談員による相談，及び巡回就学・教育相談（11～14会場予定）を実施します。お気軽にご相談ください。

詳しいお問い合わせは
沖縄県立教育センター 特殊教育課
098-933-7526（内線505）

＜生徒実習＞

本年度の情報処理教育センターと産業技術教育センターにおける生徒実習の実績は次の通りです。

(1) 生徒実習

	情報処理教育センター		産業技術教育センター	
	学校数	延べ人数	学校数	延べ人数
商 業	1	1 6 5	4	6 4 6
工 業	2	1 0 0	4	1 1 2 0
農 業			4	2 0 4
普 通	4	2 3 3		
中学校	2	4 0 2	2	3 9 3
小学校	1	8		
その他	2	6 2		
計	1 2	9 7 0	1 4	2 3 6 3
総 計	学校数 2 6		生徒数 3 3 3 3	



(2) 実習項目

	情報処理教育センター	産業技術教育センター
項 目	①インターネット・電子メール	①細胞融合 ②水耕栽培
	②ホームページ作成	③バイオ基礎講座 ④食品分析
	③Windows 入門	⑤土壌・植物分析 ⑥アーク溶接ロボット
	④文書作成入門	⑦新素材（人工宝石・セラミック）
	⑤DTP入門	⑧CAD/CAM実習 ⑨総合生産システム
	⑥DTP応用	⑩光造形 ⑪レーザ加工機
	⑦表計算ソフトの利用	⑫3次元画像入力装置 ⑬ビデオメール・グループウェア
	⑧データベースソフトの利用	⑭電送・テレビ会議 ⑮シーケンス制御
	⑨プレゼンテーション技法	⑯GPS測量 ⑰ISDN・FAX通信
	⑩マルチメディア編集	⑱画像処理・テレビ

平成11年度 特別研修員「研修テーマ」一覧 （研修期間 4月1日～3月31日）

課	氏 名	勤務校	研 究 室	研 究 テ ー マ
特別 研修 員	津 波 津賀子	小 緑 南 小	初任者研修	「校内における研修」の効果的な実施に関する研究
	宮 城 康 人	具 志 川 中		
	山 田 保	球 陽 高		
	新 垣 伸 次	西 崎 養 護		
	伊 波 沙 織	北 谷 第 2 小	適応指導 教 室	不登校児童生徒の継続的適応指導の在り方について 一 集団との関わりを深めるプログラム編成を通して一
	崎 原 盛 吉	球 陽 高	システム 開 発	LAN環境での校務処理ソフト開発と学校業務改善への基礎研究 一事務処理ソフトの開発と運用支援について一
	山 城 直 人	美 里 工		

平成11年度 1年 長期研修員「研修テーマ」一覧

(研修期間 4月1日～3月31日)

課	氏 名	勤務校	研究室	研 究 テ ー マ
教育経営研修課	宮 城 とも子	小禄南小	教 育 相 談	不登校児童への対応
	中 本 郁	白 川 小	へ き 地 教 育	自ら学ぶ子を育てる複式学習指導の工夫
	平 良 淳	伊良波小	へ き 地 教 育	多様な考え方にふれる算数科の合同学習の工夫
	平 安 貴 子	港 川 中	進 路 指 導	目的意識を高める生き方としての進路指導
	嘉手納 良 雅	宮 里 中	教 育 相 談	怠学で不登校を繰り返す生徒への対応
	佐久川 朝 代	西 原 高	教 育 相 談	問題行動の生徒と家族構造について
理科研修課	大 庭 真由美	具志川小	初 等 理 科	探究する態度を育てる支援のあり方
	後 藤 岳 二	松 島 小	生 物	淡水の在来種を素材にした環境学習の工夫
	村 田 良 秀	伊豆味小	化 学	「物の温まり方」の理解を深める観察、実験の工夫
	大 城 薫	高 嶺 中	技 術 家 庭	実践する態度を育てる指導の工夫
	伊是名 教 子	石 嶺 中	地 学	考える力を育てる指導の工夫
	宮 城 悟	宜野湾中	物 理	「力の考え」の理解を図る指導の工夫
情報処理教科	喜屋武 辰 弘	諸 見 小	情 報 教 育	「情報教育」入門期のソフトウェア作成を通して
	宮 平 和 志	与那原小	情 報 教 育	地域素材を生かした教材ソフトの作成
	野 原 勉	神 原 中	情 報 処 理	情報基礎領域における問題解決的な学習を通して
	上 里 高 司	石 垣 中	情 報 教 育	図形領域における作図ツールの作成及び活用の研究
	又 吉 栄理香	北 部 農	情 報 処 理	食品栄養計算ソフトの作成
	村 口 武	嘉手納高	情 報 教 育	「数学Ⅰ」におけるワンポイント教材の作成
	久 場 政 彦	首 里 高	情 報 処 理	世界史教材のソフトの作成とその活用
	崎 浜 秀 孝	宜野座高	情 報 教 育	2次関数を理解させるための教材ソフトの作成
	石 川 達 彦	高等養護	情 報 教 育	シュミレーション教材の活用と教材ソフトの作成
	喜屋武 肇	首里東高	情 報 教 育	太陽系の授業支援ソフトの作成
	野 原 園 子	糸 満 高	情 報 処 理	「更級日記」の教材化
	平 良 淳	那覇西高	教 育 ソ フ ト	校内LANとデータベースソフトの活用
産業技術教科	親 泊 達 也	北 部 農	バ イ オ	受精卵移植技術による子畜生産
	喜友名 朝 睦	中 部 農	バ イ オ	造園緑化植物の繁殖と育成に関する研究
	兼 次 あかね	南 部 農	食 品 分 析	ウコンの有効成分を活用した実験教材の開発
	宮 城 宏	南 部 農	食 品 分 析	科目「食品化学」の指導法の工夫
	山 城 良 隆	南 部 工	新 素 材 機 械	「課題研究」における作品製作分野の研究
	平 良 康 博	中 部 工	新 素 材 機 械	マシニングセンタの教材開発
	山 城 邦 定	沖 縄 工	総 合 生 産	レーザ加工機の教材作成
	諸 見 里 泰	美 里 工	総 合 生 産	総合生産システムの手引書作成
	石 川 ゆかり	名 護 商	ビ ジ ネ ス シ ス テ ム	科目「課題研究」におけるホームページ作成
	山 城 絹 江	中 部 商	ビ ジ ネ ス シ ス テ ム	検定処理システムの作成
	石 原 雅 之	中 部 工	通 信 ・ 制 御	通信・制御実習書の作成
	大 城 英志郎	浦 添 工	通 信 ・ 制 御	インターネットを用いたデータベースの検索
	當 山 正 則	沖 縄 工	マ ル チ メ デ ィ ア	マルチメディアを生かした学科紹介作り
	平 良 博 子	宮 古 工	マ ル チ メ デ ィ ア	3D建築CAD実習ノートの作成
特 殊	古我知 博 樹	西崎養護	特 殊 教 育	障害児の教育相談の在り方
	鳩 間 盛 松	西崎養護	特 殊 教 育	知的障害養護学校における情報機器の活用

平成11年度 後期 長期研修員「研修テーマ」一覧

(研修期間 10月1日～3月31日)

課	氏 名	勤務校	研究室	研 究 テ ー マ
教育経営 研修課	與那城 孝 子	翔南小	学級経営	豊かな心を育てる学級経営をめざして
	金城 剛	松川小	特別活動	自主的、実践的な態度を育てる学級活動の工夫
	内原 千寿子	上間小	教育相談	相互理解を深める開発的なカウンセリングの工夫
	佐久川 政 昭	比嘉小	へき地教育	自主的に学習に取り組む説明文指導の工夫
	松川 知 恵	宮原小	へき地教育	自ら学ぶ子を育てる複式学習指導の工夫
	上江 洲 毅	那覇中	道 徳	道徳的实践力を高める授業の工夫
	具志堅 正 子	石垣中	学級経営	課題解決能力を育てる学級経営の工夫
	津波 斉	恩納中	進路指導	生きる力を育てる効果的な進路指導の工夫
	加納 邦 子	与勝中	教育相談	セルフエスティーム（自己肯定感）を高める保健室のあり方
	新垣 智 功	伊平屋中	へき地教育	小規模校における自主的な学習態度を育てる学習指導の工夫
教科 研修課	北岡 哲 治	首里高	学級経営	生徒の自己実現をめざすホームルーム経営
	岸本 悦 子	与勝高	進路指導	進路意識を高めるホームルーム活動の工夫
	宮城 るり子	読谷高	教育相談	不登校生徒へのカウンセリング
	照屋 和 子	伊波小	国 語	情報活用能力を育てる学習指導の工夫
	狩俣 直 美	仲西小	国 語	思いや願いを豊かに表現できる児童の育成
	砂川 勝 美	北玉小	社 会	社会認識を深める学習指導の工夫
	新垣 誠	とよみ小	社 会	社会的なものの見方や考え方を育てる学習指導の工夫
	比嘉 綾 子	開南小	算 数	練り合いをいかした算数の指導の工夫
	城間 優 子	糸満小	総合的学習	主体的に学ぶ国際理解教育
	照屋 香	佐敷小	生 活	身近な人々と主体的にかかわる授業づくりの工夫
教科 研修課	大城 美恵子	中城小	英 語	楽しく学ぶ英語学習の工夫
	栗国 典 子	北谷中	国 語	漢誌への興味・関心を高める学習指導の工夫
	武元 英 樹	嘉数小	社 会	豊かな表現力を育てる社会科の授業づくり
	安谷屋 正 史	石田中	数 学	数学的活動の楽しさを味わわせる授業の工夫
	下地 さつき	石川中	音 楽	創造的な学習活動の充実を図る指導の工夫
	友寄 ゆかり	中城中	英 語	コミュニケーション能力を伸ばす授業の工夫
	上里 峰 子	東風平中	保 健 体 育	共に学び合う力を育む体育学習指導と評価の工夫
	前城 君 代	小禄高	数 学	数学的な見方・考え方を育む学習指導の工夫
	慶田盛 喜志子	北中城高	音 楽	主体的に考え、学ぶ音楽学習の工夫
	渡久山 英 雄	名護高	美 術	造形的な創造活動を高める授業の工夫
理科 研修課	城田 亮	那覇高	保 健 体 育	武道の良さ・楽しさを味わわせる学習指導の工夫
	仲本 幸 子	北谷高	英 語	英語の「聞く力」を伸ばす学習指導の工夫
	比嘉 恵 子	西原高	健 康 教 育	ライフスキルを育む健康教育の工夫
	上原 志芽子	浜川幼	幼 児 教 育	聞く態度や話す力をはぐくむ援助の工夫
	南風見 昇	潮平小	初 等 理 科	地域の自然への関心を持たせる指導の工夫
	町田 宗 康	泡瀬小	地 学	第4学年「月と星」の指導の工夫
	山里 崇	神森中	物 理	「エネルギー」の学習指導の工夫
	花城 勝 代	名護高	家 庭	食生活を創造する指導の工夫
	長門 貴 子	前原高	化 学	地域素材を生かした「生活科学」の指導の工夫
	吉村 敬 子	小禄中	視覚・聴覚・言語障害	知的障害特殊学級における美術科の指導
特殊教育	植村 好 孝	西崎養護	知的・情緒・学習障害	一人一人の良さを生かす生活単元学習の工夫
	持 清 美	泡瀬養護	肢体不自由・病弱教育	音楽の生活化で潤いのある学級をめざして
	比嘉 雄 子	鏡が丘養護	肢体不自由・病弱教育	基本的生活習慣の確立へ向けての指導

各課への直通電話が開設

平成12年3月1日から沖縄県立教育センターの電話番号が下記の通り開設されました。

庶 務 課	9 3 3 - 7 5 5 5	特 殊 教 育 課	9 3 3 - 7 5 5 5
教育経営研修課	9 3 3 - 7 5 1 8	産 業 教 育 課	9 3 3 - 7 5 1 8
教 科 研 修 課	9 3 3 - 7 5 9 5	こころの電話相談室	9 3 3 - 7 5 9 5
情報処理教育課	9 3 3 - 7 5 0 1	教育相談専用ダイヤル	9 3 3 - 7 5 0 1
理 科 研 修 課	9 3 3 - 7 5 1 3	FAX（全課共通）	9 3 3 - 7 5 1 3